

象が来たころの小浜の港



さて…
私はどこに
陸揚げされ
たのでしょ
う？

小浜市世界遺産推進室 下仲 隆浩

象が来た ああ～！

《若狭国税所今富名領主代々次第》

- 応永15年（1408）小浜に南蛮船着岸。
- 問丸、本阿。
- 帝王亞列進卿から日本国王への進物。
- 生象1匹（黒）。他にオウム、孔雀など。
（1ヵ月後に入京・黒象3頭）
- 11月、大風で中湊浜に打ち上げられる。
- 翌年に船を新造。10月出航。

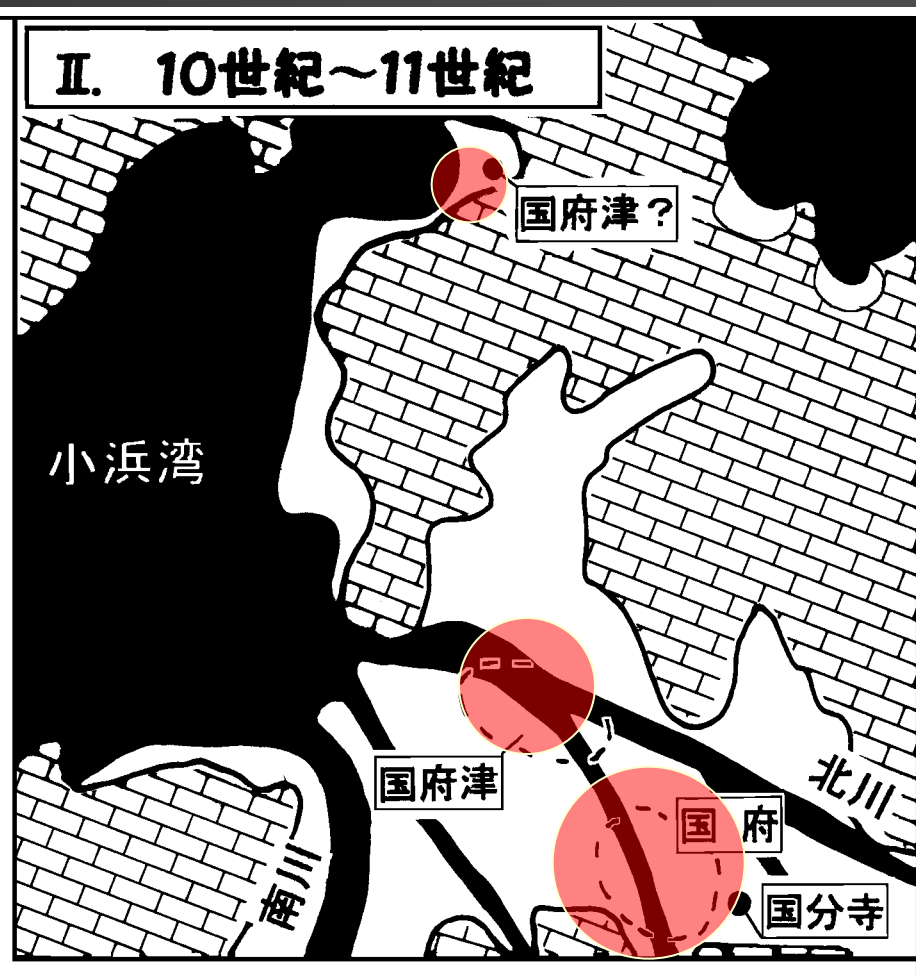
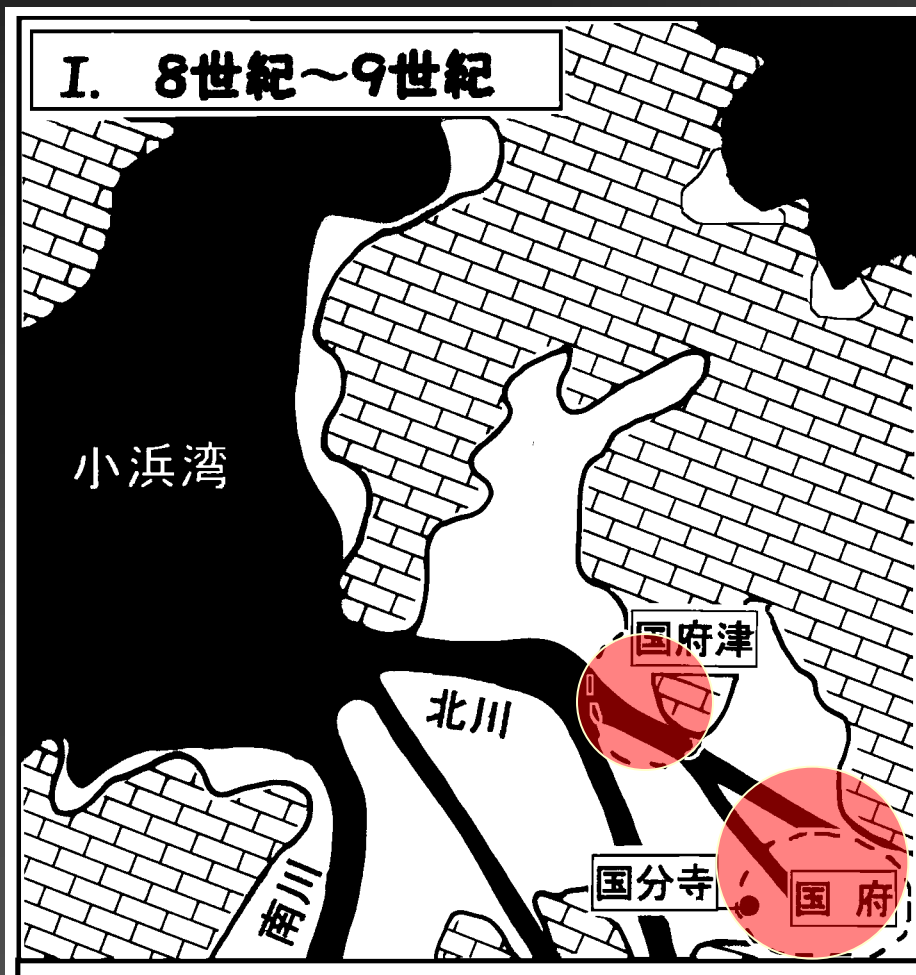
《伝承》

- 甲ヶ崎の象つなぎ岩・古津にやってきた

小浜の港の変遷をたどる

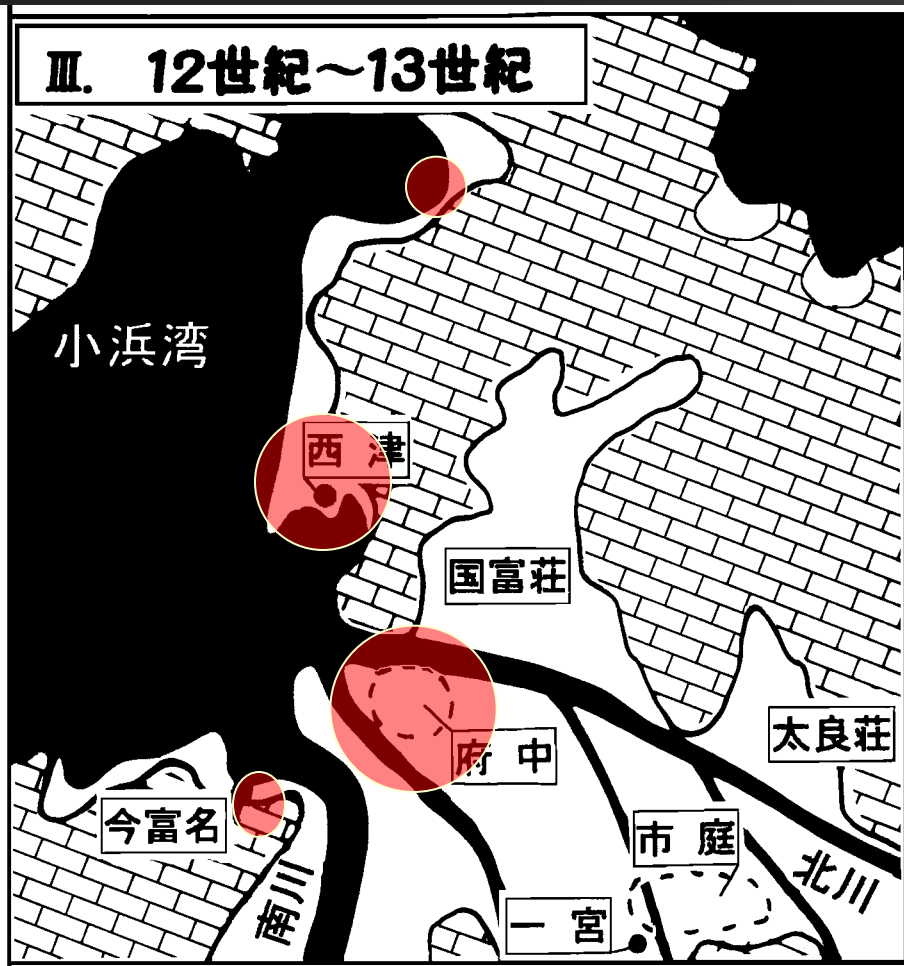
1. 遠敷・国富の北川河口域
奈良平安時代 《若狭国府と国府津》
2. 小浜府中の成立
平安時代末 《小浜府中》
3. ラグーン of 港 西津
鎌倉時代～室町時代初め
4. ラグーン of 港「津田入江」と「青井入江」
鎌倉時代～室町時代終り
5. 南川河口の港・小浜湾停泊
戦国時代～

若狭国府と国府津



府中から西津、そして小浜へ

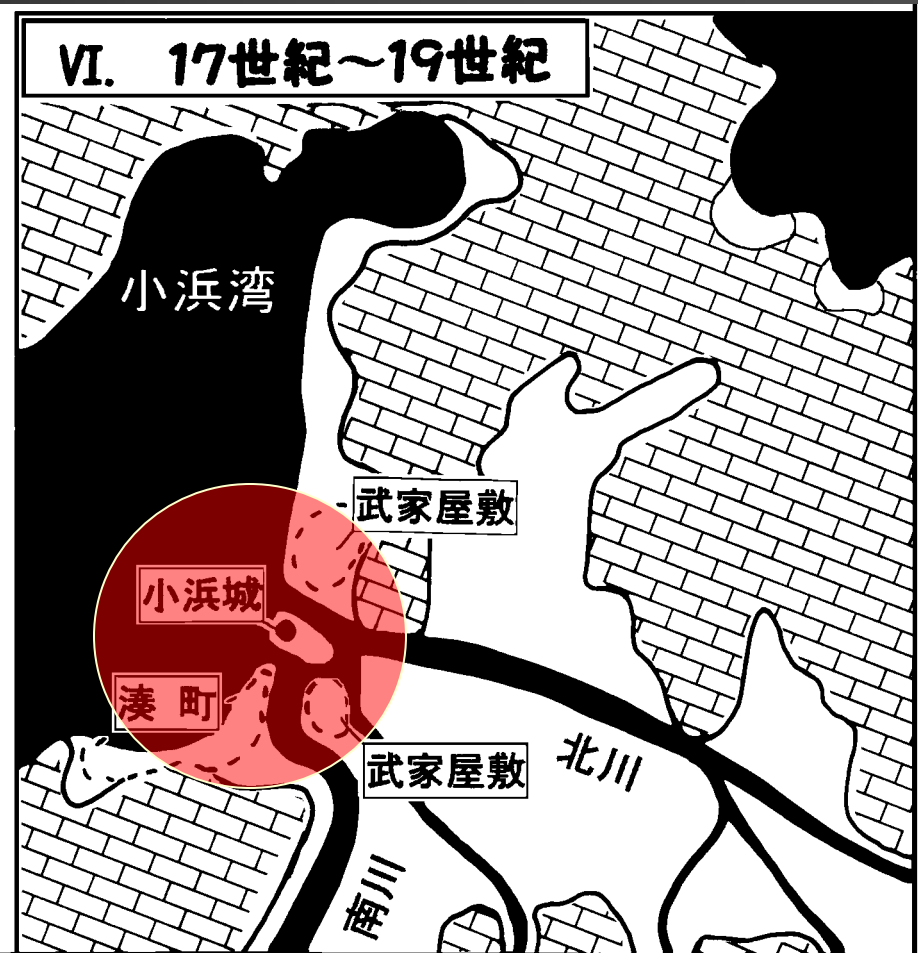
Ⅲ. 12世紀～13世紀



Ⅳ. 14世紀～15世紀前



港湾都市 小浜の成立



青井舟留岩

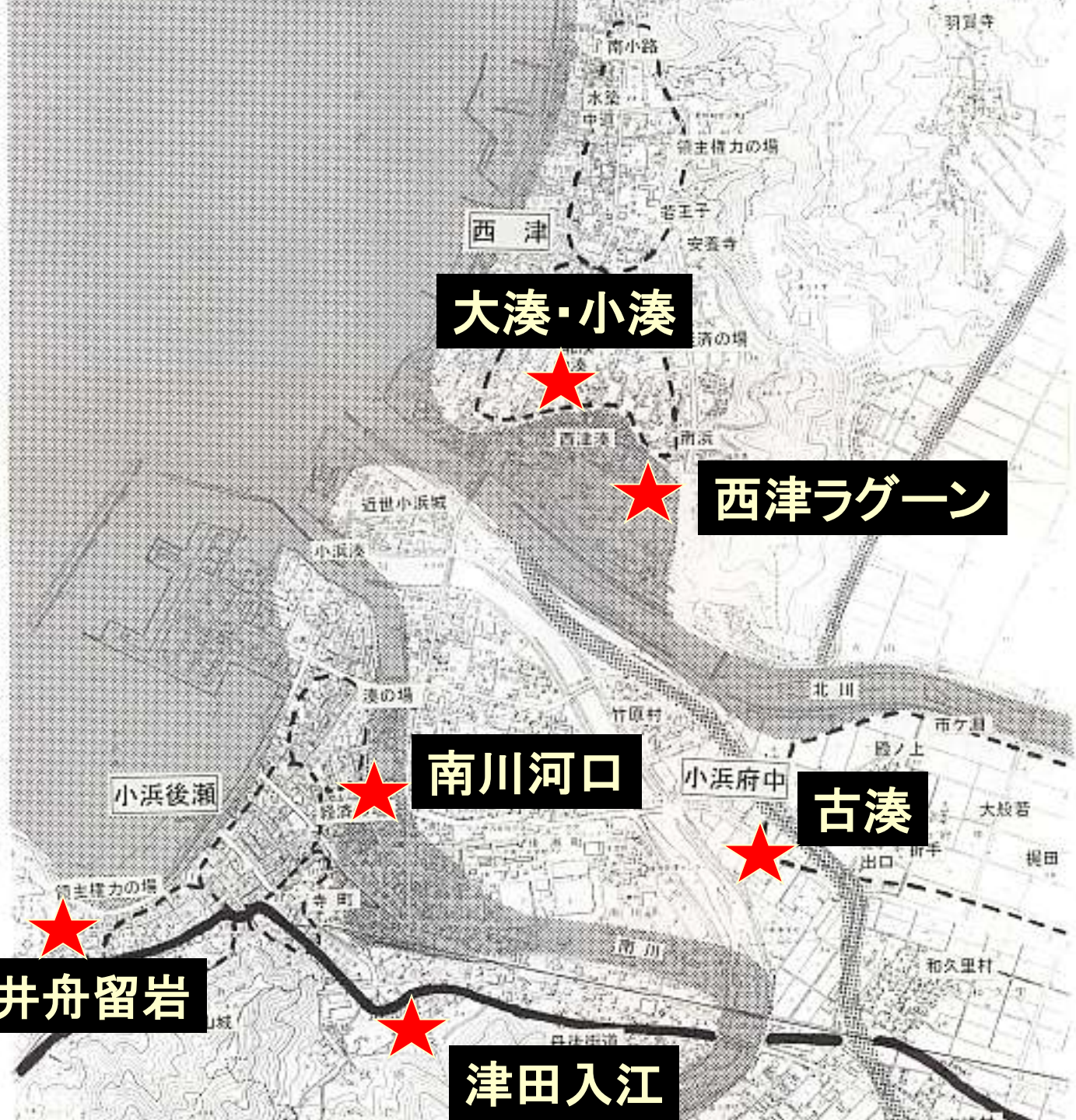
津田入江

南川河口

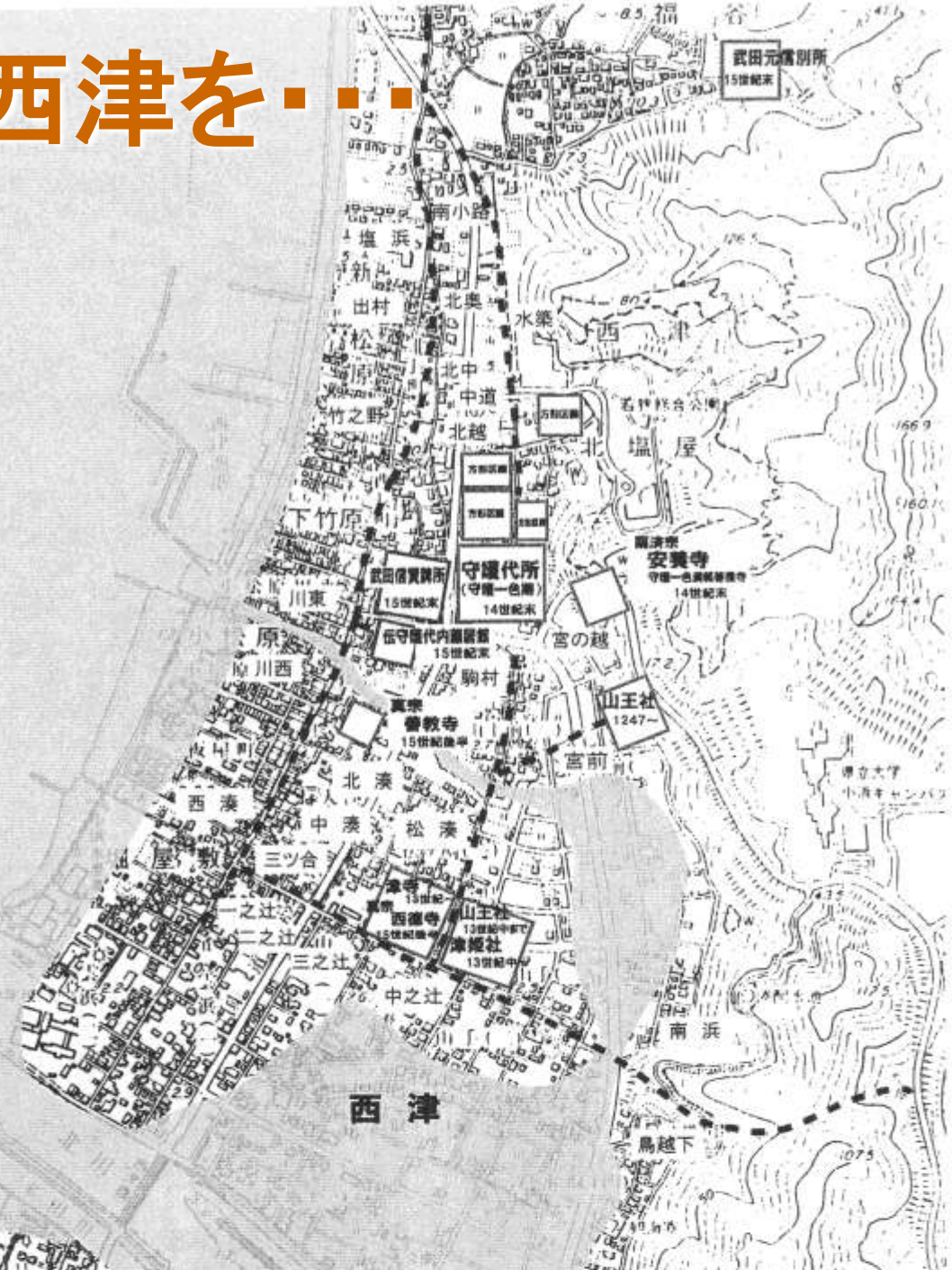
古湊

西津ラグーン

大湊・小湊



参考までにまず西津を・・・



小浜その1 (象がきた前後)



若狭安国寺 (1339)

時宗寺院の成立

日蓮宗寺院の成立

一色氏迎賓館 (1393-1407)

税所今富名拠点

青井入江

140中頃 ~ 150後半の西津・小浜

小浜その1 (象がきた前後)

〇〇小路という地名

1. 上小路・中小路・三小路・広小路など
2. 薬師小路・大蔵小路・石屋小路・八幡小路など

塩浜小路

世阿弥が佐渡へ

「船とむる
津田の入海
見渡せ

ば・・・」

★永享3年(1434)

常西小路

津田入江
(小浜)



小浜その2 (象が来てから100~200年)

西組の町名

文殊丸・石垣・二鳥居・馬場など
(城や家臣団に関する)

立町・裏町の成立
(本町・北本町)

浄土真宗寺院の創建
(港の労働者の信仰)

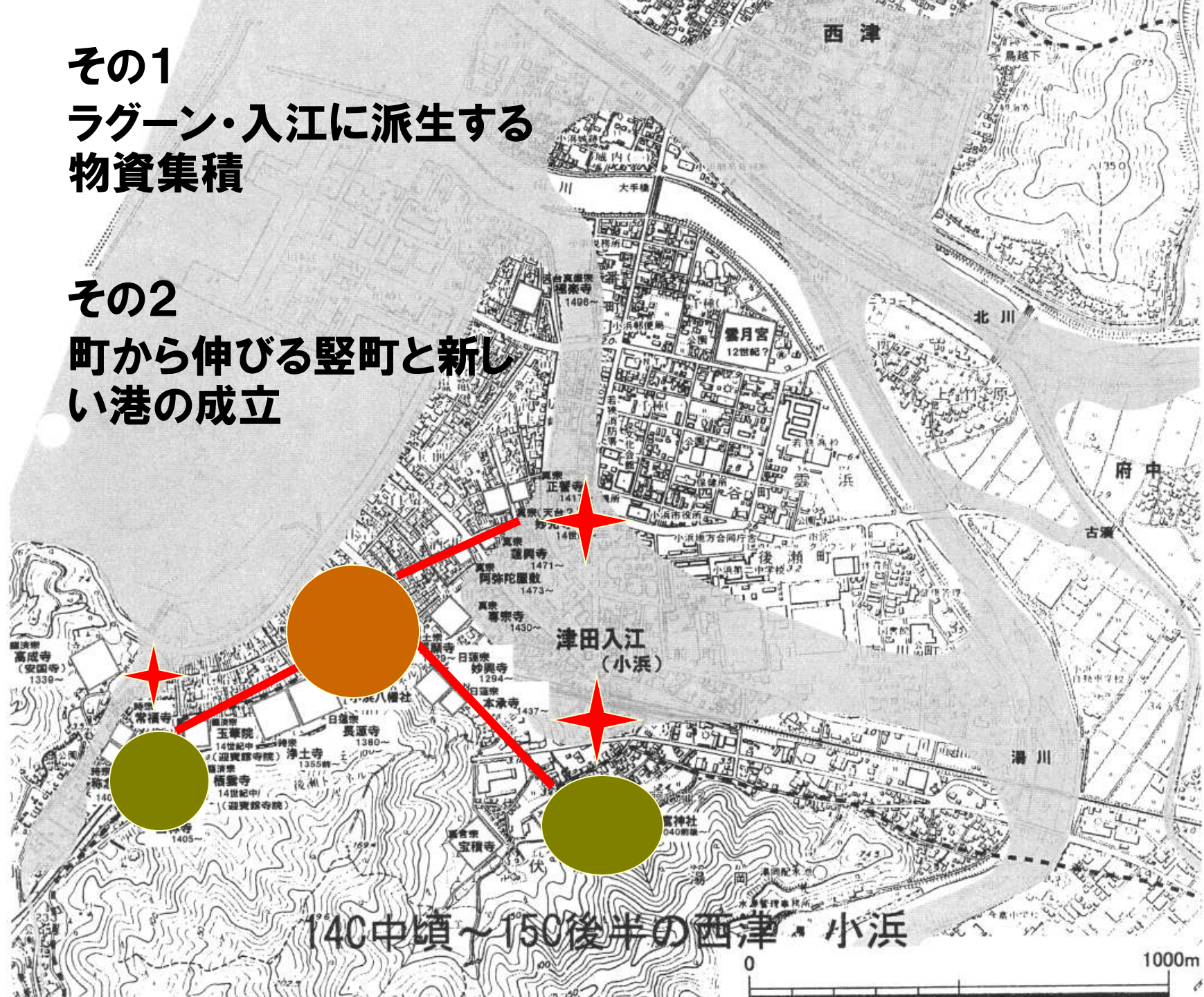
港を牛耳る 守護武田氏・後瀨山城

1500末~1600の小浜・西津



その1 ラグーン・入江に派生する 物資集積

その2 町から伸びる縦町と新しい 港の成立

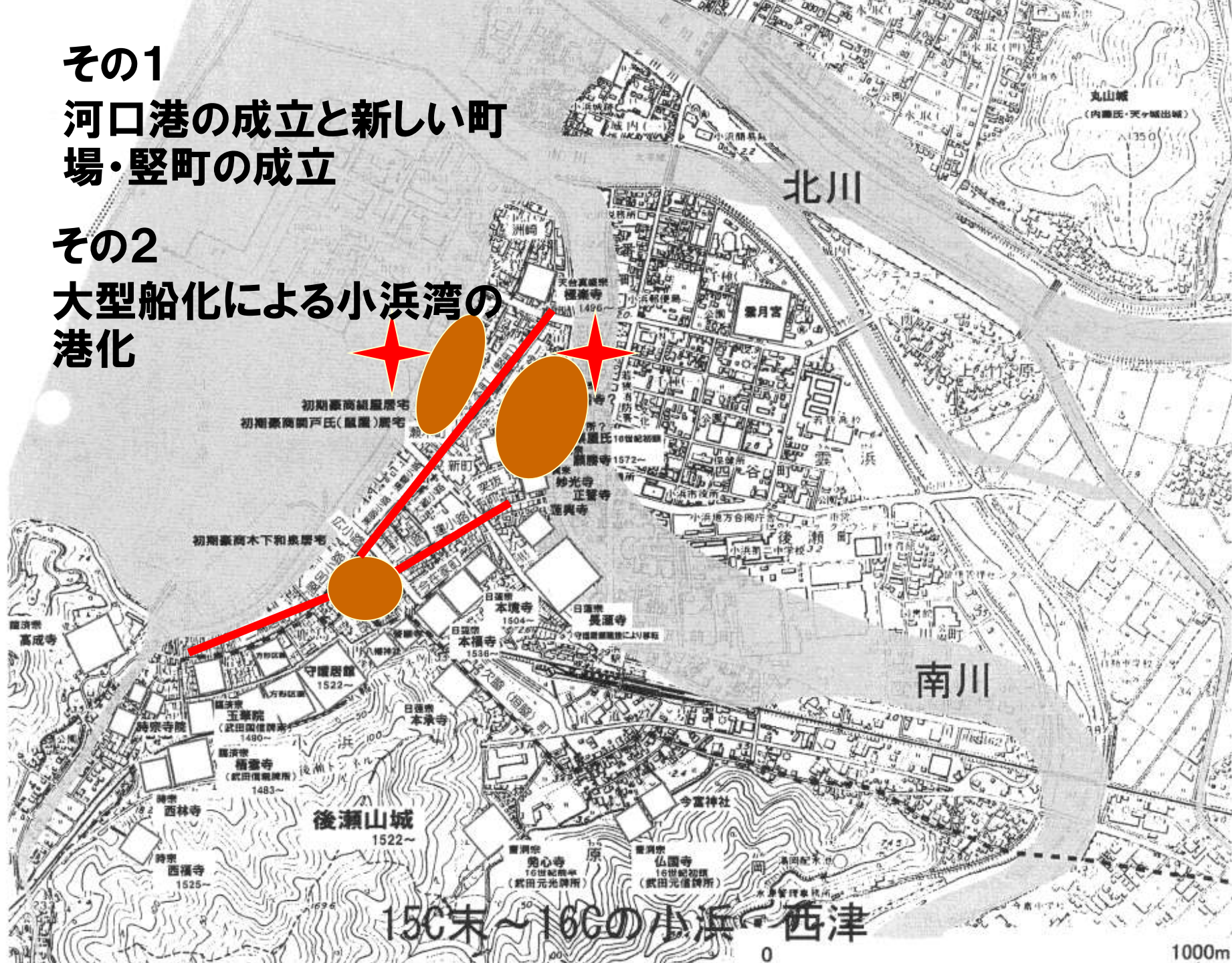


その1

河口港の成立と新しい町場・豎町の成立

その2

大型船化による小浜湾の港化



～小浜と対外貿易～

- 可
- 何
- 只
- 車
- 末
- 組屋六



黒陶器

壺

象はどここの港についてなのか？

- 当時の港の中心は？ 西津 OR 小浜
- 小浜であればどこに？？
- 当時は一言でいえばどのような港町？
- じゃあ、甲ヶ崎の象つなぎ岩は嘘なの？

象の鼻が伸びるように発展する 小浜の港町



もう鼻は伸びないの
だろうか？
♪♪パオーン♪♪
★★おしまい★★